



飯田市歴史研究所の平成24年度事業概要

1. 市誌編さん事業

歴史研究所の調査研究活動の成果を集約公開し、この地域の歴史と文化を身近に感じられる取組を行います。

旧飯田町・上飯田町地域の全体史叙述編『飯田・上飯田の歴史』の刊行に向けて、市民の皆さんにご協力いただきながら、編集活動を進めます。

上巻(自然、原始から近世まで)は平成24年9月、下巻(近現代)は平成25年3月刊行を予定しています。

2. 調査研究事業

資(史)料の現状記録調査、歴史的建造物調査、聞き取り調査(オーラルヒストリー)などを実施し、地域の歴史・文化を解明していきます。市民や研究者、大学等の研究機関との協働で行いながら、その成果を研究会・年報等で公表していきます。

①研究成果の公表(刊行物)

- 『歴史研究所年報』10号
- 『下伊那のなかの満洲 聞き書き報告集』第10集

②第10回飯田市地域史研究会

- 開催時期:8月18日(土)・19日(日)
- テーマ:「地域と歩む教育の歴史—飯田・下伊那の学びの場から—」
- 研究会の目的:
学校や社会の学びの場が地域とどう関わりながら歩んできたのか、飯田・下伊那の学びの場を例にして考え合います。

③歴史研究活動助成

市域を対象にした研究活動を助成することで人材の育成に努め、研究成果の蓄積を図り、その成果を地域に還元していきます。

④定例研究会

研究所のさまざまな研究活動を促進するため、研究会を公開で行います。

⑤緊急雇用創出事業による史料調査を進めます。

⑥地域の文化遺産記録作成、調査研究事業・

地域資源活用助成事業

歴史的建造物や歴史資料の調査研究と保存・利活用によって、歴史的な地域資源に対する住民意識を高めながら、まちづくりや世代交流の素材としても再認識できる環境を整えていきます。

3. 教育事業 ~中学生から一般を対象とした 歴史教室~

市民のみなさんが暮らしている地域を知り、地域を誇りに思う心を培い、人材を育む地域の力を高めていきます。併せて調査研究や教育を行う人材の育成を目指します。



中学生職場体験学習

①地域史講座の開催

- 飯田・下伊那の歴史を題材とした最新の地域史研究の成果について発表します。
- 『飯田・上飯田の歴史』刊行に関する調査研究の報告会を開催します。



地域史講座「飯田・上飯田の御用水」
2011年5月25日

②飯田アカデミアの開催

歴史学を中心とした外部の講師による大学専門課程レベルの学術講座を開催します。

③飯田歴研ゼミナールの開催

市民が主体的に歴史を学んでいく場として、古代史ゼミ・近世史ゼミ・近現代史ゼミ・思想史ゼミ・満州移民研究ゼミを開催します。



大学生の研修受け入れ

④学校教育や民間の研究グループ等との連携

「職場体験学習」の受け入れや、高校の特別講義、学校・地域の団体・サークルを対象にした「出前講座」への出講、中学生～一般を対象にした「歴史教室」を開催します。

⑤市民研究員の研究活動を支援します。

4. アーカイブズ保存活用事業

地域で育まれてきた歴史・文化の記録は、市民のみなさんにとってかけがえのない貴重な財産であるという観点から、地域に残るアーカイブズ(歴史資料)を収集・保存・公開し、市民や研究者が史料を積極的に活用できる体制・環境を整えます。

①旧役場文書や学校など公的機関の歴史資料の保存・公開・活用
市町村合併特例交付金による旧南信濃村役場文書の調査整理及び公開・活用に向けた所蔵庫整備を行います。

②市役所の非現用文書の保存

③歴史資料の保存(デジタル化を含む)・継承の支援および公開

5. 地域に開かれた研究所をめざして

市民のみなさんからのご意見をふまえながら、第3期中期計画(平成25から29年度まで)の策定を行い、計画的な調査研究活動を展開していきます。

調査研究によって整理蓄積された収蔵史料や目録などの情報は積極的に公開を進め、関係図書は南信州図書館ネットワークでの検索も可能となり、市民のみなさんや研究者等の閲覧や利用に関するサービスを提供します。さらに、ホームページの充実や広報などを通じ歴史研究所の諸活動を広く市民のみなさんに紹介していきます。

また、情報誌「歴研ニュース」を年6回発行します。



飯田・下伊那史料叢書3 建築物編2

農村舞台

飯田・下伊那は歌舞伎・人形浄瑠璃が盛んな地域であり、現在でも各村落にはこれらの芝居を行うための農村舞台が多く残る大変珍しい地域です。

このたびの調査により18世紀末から昭和30年代までに建築された農村舞台が

121棟存在したことが分かり、これらの調査報告書を3月末に刊行いたしました。

農村舞台には演出装置として廻り舞台や遠見・太夫座・花道・舟底といった建築的な特徴が多くあり、見所ある建物です。村落の栄耀を色濃く伝える飯田・下伊那の特徴ある建物群として今後利活用が望まれます。



編集発行：飯田市歴史研究所

A4判・245頁 定価 2,000円

くるみざわ もり

「胡桃澤盛日記」第2巻

「胡桃澤盛日記」刊行会編／飯田市歴史研究所監修

戦時中に河野村（現豊丘村）の村長をつとめた胡桃澤盛（1905-1946）の日記です。

第2巻は大正15年から昭和4年まで。多感な農村青年が昭和恐慌や家族の不幸に見舞われながらも、結婚をし、家をついで大人へと成長していく青春時代後篇。

昭和2年9月27日の日記より抜粋

「普選最初の選挙たる県議員の選挙投票日である。未明からの雨に道路は泥濘が甚しい。其中に各候補のそれぞれのピラが踏みにじられている。昨夜の活躍が劇しかったのだろう。禁じられている筈の戸別訪問も行われたらしい。夕方、生産へ繭を挽いて行く道、投票帰りの人々で道は雨の日にも関わらず、常日より往來が繁かった。夜、村青の集会に行った際、投票箱を役場の小使いが背負って立会人、村長、巡査が付き添って出掛ける所だった。

小使爺の負んでいる彼の箱に七人の候補の運命は閉じ込められている。そして我々の政治的生活の四年間もあの中にある。秘められて。」



A5判・409頁・並製

全6巻セットの
予約販売です
(各巻3150円+送料)

2011年度飯田歴研賞受賞

奨励賞「炎は躍る」

昨年の8月、第9回飯田市地域史研究集会の席上において、当刊行会の著書「炎は躍る」が地域史研究に貢献するものとして飯田歴研賞の奨励賞で表彰を受けました。

山村地域の素朴な伝統文化の保存伝承の尊さを認めていただいたことは誠に有難く、刊行会として光栄の至りであります。この本の著書(文)は飯田下伊那地方で長年に亘り児童文学者として活躍された宮下和男先生であります。先生は勇壮豪華に加えて優美さも取り持つ伝統の清内路手づくり花火の魅力に取り付かれ、この文化を後世に確実に引き継いで守り育てなくてはとの思いで、現代の記録を確かなものとし、特に将来のある子供たちに事実を知らしめたいと8年に及ぶ取材活動の結節として児童文学の体裁でこの本が書かれたのであります。

清内路の手づくり花火は長野県の無形民俗文化財に指定されており、その種類や趣向は他に類を見ない特異な仕掛け花火であります。今回の受賞を契機に、広い地域の皆さんの期待に応じて伝統文化の保存伝承に更なる精進をしまる覚悟でありますので、倍旧のご支援を賜りますようお願いいたしましてお礼の挨拶といたします。



上清内路煙火同志会名誉顧問

原 満 征さん



「飯田・上飯田の歴史」刊行事業より

「昭和の大合併」 をめぐる社会経済史

町村合併促進法（1953年制定）により、「昭和の大合併」が進められました。1956（昭和31）年9月、1市7村（飯田市、座光寺村、伊賀良村、山本村、松尾村、竜丘村、三穂村、下久堅村）が合併し、新制・飯田市がスタートしました。

合併の焦点は、当時「模範」町村と称された鼎町、上郷村、松尾村が飯田市と合併するか否かにありました。上郷村には村有林・野底山があり、山の収入によってインフラが整備されていました。村長・村会議員・社会運動の担い手等は、野底山を「村民の生命線」と位置づけ、合併を「命がけ」で拒否します（上郷村農民組合「意見書」1956年）。また、鼎町は交通網の中心に位置し、「物資集散が」すでに「殷賑を極めて」いたため（鼎町「村を町とする申請書」1954年）、合併のメリットはないと判断します。

一方、松尾村は次の理由から合併に応じました。補助金が、合併した町村に「優先的に取り扱われる公算が極めて大きい」なかで、「中学建設、病院整備」など「やりたいことが沢山ある」、補助金「をスムーズに獲得するためにはどうしても合併が必要」と（松尾村公民館『村の新聞』1956年）。

「昭和の大合併」は国県の方針であり、市町村にとっては、補助金をめぐって「おどしをかけられた」ようなものでした（平澤清人「新飯田市を巡って」1957年）。一方、「交通いいよ利便」となりつつあるなか、合併は人々に受容されたともいえます。松尾村のなかでも商業地は、「丘の上」の商店街との競合

下巻
近代・現代

平成23年度 歴史研究助成報告会 が開催されました

3月3日、上郷公民館にて3件の助成対象研究報告が行われました。その一つをご紹介します。

「雪月園について」 北方古老に聞く会 新井利彦さん

講評 伊賀良地区の北方にかつて存在した雪月園を創建したという釈尊安にまつわる伝承を出発点として、雪月園の沿革や、三穂地区の立石杉の堂の草創などについて明らかにした労作である。

雪月園をめぐる問題は、これまであまり光が当てられてこなかった中世末～近世の下伊那における真宗の動向を考える上でも重要な論点となりうる。今後の研究の深化が期待される。



研究報告の様子

飯田アカデミア 第65講座のご案内

開催日:2012年7月7日(土)・8日(日)

講師:田嶋 一さん(國學院大學文学部教授)

場所:りんご庁舎3階 受講料:500円(資料代)

1日目 13:00～16:30 ※30分の休憩をはさみます。

長野県(南信)の自由民権運動と教育の自由・自治(教育への参加)

明治10年代、自由民権運動が盛んだった頃、教育行政の面では、学務委員制度という制度が作られました。地域から選出された学務委員が地域の学校教育の運営を全面的に担当するという制度です。この時期に地域に任された学校の維持管理(教育の自由と自治)を地域の人はどう受け止め、学校をどう運営しようとしていたか、そこにはどんな可能性があったのか、という問題に光を当ててみたいと思います。参加者と一緒に、松本で発刊されていた『月桂新誌』という自由民権派の教育専門雑誌を読み込んでみようと思います。

2日目 10:00～14:30 ※お昼休憩をはさみます。

『修養』『教養』の歴史と飯田・下伊那の青年たちの自己教育運動の歴史

大正期から昭和初期にかけて、飯田・下伊那地域の青年たちの自己教育運動(青年会、青年団)の中では、「修養」という用語と概念が重要な役割を果たしていました。修養は明治以降、全国的に広がっていた自己教育概念でしたが、とりわけ飯田・下伊那地域の青年たちは、この用語に積極的な意味を与えて、自己教育の運動を展開していました。一方、大正期から学生たちや都市の知識人は「修養」に代えて「教養」という新しい自己教育の概念を創出しました。上田自由大学、信南自由大学などの運動は、「修養」と「教養」が交わる場所に成立した運動だったと考えて良いと思います。「修養」や「教養」の歴史をとらえる中であらためて日本の青年の自己教育運動の意義、飯田・下伊那地域の青年たちの運動の歴史的意義を捉え直してみたいと思います。

お申し込み
お問い合わせ 飯田市歴史研究所 TEL.0265-53-4670 FAX.0265-21-1173
E-mail:iuhr@city.iida.nagano.jp

※諸事情により日程等が変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。随時ホームページ・市広報等でお知らせ致します。

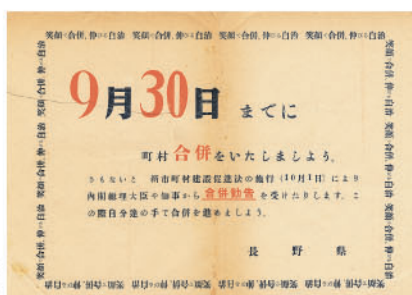
を懸念し、合併に反対したようです(『村の新聞』他)。インフラ整備が進むなか、人々の生活圏が拡大しつつあったことを示しています。

ただし、いま記したことは、竜西(下久堅のみ竜東)という中心部の出来事です。下伊那のなかでも山間部には、山や谷に隔てられ、インフラ整備が進んでいなくても合併しなかった村がいくつもあります。つまり、中心部と山間部では合併に対する考え方が異なるものと思われそうですが、この点、今後の課題とします。

本文作成にあたり、小林啓祐「町村合併と地域住民」(森武磨編著『1950年代と地域社会』)より示唆を得ました。【坂口 正彦】

※文中の引用句は元文のまま使用しております。

長野県作成のポスター
県内各地に配られた
(佐々木久孝氏所蔵)



定例研究会

開催日:2012年4月14日(土)

テーマ:「古代のイナの特質」

報告者:北村 安裕(研究員)

時間:14:00～16:00

場所:歴史研究所 研修室

開催日:2012年5月26日(土)

テーマ:「松川入利用と人々の暮らし」

報告者:伊坪 達郎(調査研究員)

時間:14:00～16:00

場所:歴史研究所 研修室

開催日:2012年6月9日(土)

テーマ:「勤向書上帳からみる飯田藩の職制」

報告者:竹ノ内 雅人(研究員)

時間:14:00～16:00

場所:歴史研究所 研修室

歴研の出前講座

日時:2012年4月8日(日) 9:00～11:30

「ふるさと再発見講座」恒川清水に残された貴重な文化財をめぐるフィールドワークです。

主催:歴史に学び地域をたずねる会・恒川清水を学ぶ会

題目:「恒川清水の遺跡と文化財をたずねる」

講師:北村 安裕(研究員)

集合場所:高岡の森駐車場

お問い合わせ先:座光寺公民館 TEL.0265-22-1401

日時:2012年5月23日(水) 19:00～

「ふるさと探検塾」3日目 第6講話

主催:飯田青年会議所 TEL.0265-23-7875

題目:「大火から立ち上がった人々」

講師:本島 和人(調査研究員)

場所:飯田市公民館 1・2・3展示室(吾妻139)

日時:2012年6月14日(木) 14:00～

「赤門スクール」第1回

主催:南信教育事務所飯田事務所 TEL.0265-53-0461

題目:「災害と救済～天明の飢饉と池田町火事～」

講師:伊坪 達郎(調査研究員)

場所:飯田合同庁舎 講堂(追手2-678)

※聴講をご希望の方は、主催団体へお問い合わせ下さい。

歴研ゼミナール

近世史ゼミ

- 開催日 4月3日・17日
5月1日・15日
- 時間 19:00~20:40
- 担当 竹ノ内 研究員
- 場所 歴史研究所 研修室

思想史ゼミ

- 開催日 4月4日・18日
5月2日・16日
- 時間 19:00~20:40
- 担当 池田 研究員
- 場所 歴史研究所 研修室

近現代史ゼミ

- 開催日 4月14日・28日
5月12日・26日
- 時間 17:00~18:40
- 担当 田中 調査研究員
- 場所 歴史研究所 研修室

古代史ゼミ

- 開催日 4月12日・26日
5月10日・24日
- 時間 19:00~20:40
- 担当 北村 研究員
- 場所 歴史研究所 研修室

満州移民研究ゼミ

- 開催日 第11回:4月7日
第12回:5月12日
- 時間 10:00~11:40
- 担当 本島 調査研究員
- 場所 上郷公民館103号室

建築史ワークショップ

- 開催日 4月10日・5月8日
 - 担当 金澤 客員研究員
 - 時間 19:00~20:40
 - 場所 歴史研究所 研修室
- ※第4日曜日にフィールドワークを行います。
詳細はお問い合わせ下さい。

歴史研究所の催事スケジュール

2012年 4月

2012年 5月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	近世史ゼミ	思想史ゼミ																													
NL57発行・近世史ゼミ																															
思想史ゼミ																															
満州移民研究ゼミ																															
出前講座																															
建築史ワークショップ																															
古代史ゼミ																															
定例研究会・近現代史ゼミ																															
近世史ゼミ																															
思想史ゼミ																															
建築史フィールドワーク																															
出前講座																															
古代史ゼミ																															
近現代史ゼミ																															

開所時間:午前9時~午後5時

休所日:日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日

休所日

開所日

歴研日誌

2月

- 1日… 歴研ニュース56号発行
- 1日… 思想史ゼミ「津田左右吉『建国の事情と万世一系の思想』③」
- 4日… 定例研究会「大型店進出と『丘の上』」(本島調査研究員)
- 4日… 満州移民研究ゼミ「宮下功『満洲紀行』を読む⑨」
- 5日… 大休青年会学習会 出前講座(竹ノ内研究員)(大休集会所)
- 7日… 近世史ゼミ「百姓の食事ー河内村・栗矢村ー」
- 8日… 竜丘・時又文化祭 平和記念資料展示(池田研究員・北村研究員)
- 11日… 竜丘・時又文化祭 出前講座(池田研究員)(時又ふれあいセンター)
- 14日… 建築史ワークショップ「漁村」
- 15日… 思想史ゼミ「羽仁五郎『日本歴史の特殊性』」
- 16日… 丸山小学校 史料調査(本島調査研究員・齊藤客員研究員)
- 16日… 銀座 飯島仙次郎氏 日露戦争史料受け入れ
- 21日… 図書バーコード登録作業開始
- 21日… 近世史ゼミ「幕領村々申し合わせ」
- 23日… 第3回「飯田・上飯田の歴史」下巻5章執筆者会議(高森歴史民俗史料館)
- 23日… 「胡桃澤盛日記」刊行会
- 25日… 近現代史ゼミ「報告書の校正」
- 28日… 平和資料収集委員会(池田研究員)
- 29日… 「胡桃澤盛日記」第2巻 刊行

3月

- 3日… 研究助成報告会(上郷公民館)
- 3日… 満州移民研究ゼミ「宮下功『満洲紀行』を読む⑩」
- 6日… 近世史ゼミ「村内申合之事(山村の主な村定)」
- 7日… 思想史ゼミ「三好達治『なつかしい日本』」
- 8日… 恒川清水を学ぶ会役員会(北村研究員)
- 8日… 文化遺産継承活用実行委員会(土屋総務係長)(飯田市役所)
- 10日… 地域史講座「中世飯田の名残を求めて
~宮ノ上太子堂旧蔵・聖徳太子絵伝を手がかりに~」
(織田顕行 飯田市美術博物館学芸員)(東野公民館)
- 10日… 近現代史ゼミ「報告書の製本」
- 11日… 歴史館セミナー「信濃古代史の再構築に向けて」参加(北村研究員)
- 13日… 建築史ワークショップ「まとめ」
- 13日… 多文化共生社会づくりに向けた実施計画策定
のための市民会議(本島調査研究員)(りんご庁舎)
- 15日… 近現代史ゼミ「『大正13年の胡桃澤盛日記と
南信新聞』刊行・来年度の計画」
- 17日… 街並みハイク「農村舞台と駒場宿」(金澤客員研究員)
- 21日… 思想史ゼミ「小熊英二『〈民主〉と〈愛国〉』」
- 21日… 第4回「飯田・上飯田の歴史」下巻5章執筆者会議(歴史研究所)
- 21日… 平和資料収集委員会(本島調査研究員)
- 21-23日 座光寺小学校調査(飯田科研)
- 27日… 南信濃所蔵庫整備竣工検査
- 28日… 図書バーコード登録作業終了
- 31日… 「飯田・下伊那史料叢書3 建築物編2 農村舞台」刊行